

【エペソ人への手紙 5章】

「詩と賛美と霊の歌をもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。」(エペソ5:19)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.9.23 No.702

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。

ヨハネ3:34

「神がお遣わしになった方は、神のこぼを話される。
神が御霊を無限に与えられるからである。」



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

この章は1～20節「神様を喜ばせるために」 21節以降「幸福な家庭をつくるには」という2つのポイントで述べられています。

神を喜ばせるためには何をして、何をしてはいけなかが語られています。神様を模範として、愛のうちを歩むように、不品行、汚れ、むさぼり、みだらなことや愚かな話、下品な冗談を避け、感謝するように言っています。光の子供として歩むこと。そして賢く歩むこと。主のみこころは何かをよく悟ること。酒に酔わず、聖霊に満たされて「詩と賛美と霊の歌をもって、互いに語り、主に向かって心から歌い、また賛美しなさい。」と語られています。なお、感謝の戦士として、喜びながら賛美隊に加わってゆきましょう。(毎週ライブが行われ、先週はさいたま新都心と横浜の二手に分かれて行いました。更に主の導かれたところに行くとゴスペルが歌えますように。一人であっても、グループであっても。) すなわち、神様を喜ばせるために必要なことは「聖霊充満」であり、「感謝」する事。感謝できることも、感謝できないこともすべてを！そして喜びの声を上げて「賛美」することです。今年も昨年と同じように、この標語が掲げられています。共に教会に来て礼拝する中で、主のご臨在に触れ、主から力をいただきましょう。

21節～夫と妻の関係が、キリストと教会の関係を通して語られています。キリストが教会を愛し、教会のかしらとされていますが、これが夫婦の関係の原型です。「妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従うように。」「キリストは教会のかしらであって、ご自身がその体の救い主であられるように、夫は妻のかしらだからだ」といっています。また夫たちに言っています。「キリストが教会を愛し、教会のためにご自身を捧げられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。」と。

私たちの愛は、愛されるようにしてくれるなら愛しますよ！というような受身のものですが、神様の愛は、まず与えていく時に、愛の関係が生まれてくるのですね。妻が初めに書いてあるのは、妻がまず仕えて、愛を作り出すものとなりなさいと言われているのではないのでしょうか。妻が初めにサタンに騙されたことも事実ですが、その弱さがあることを認め、その女性に愛する力を神様は与えておられることを信じ、夫に愛をもって従えるように。そして夫が神様のみ心を行うことができますように祈り、家庭の平和が保たれてゆきます。また夫も、神の愛を受け、自分の妻を自分の体のように愛することができますように。幸福な家庭が作られ、神に栄光をお返しできますように！

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。